

2022年2月10日
川崎重工業株式会社
川崎車両株式会社

ワシントン地下鉄車両の脱線事故について

2022年2月9日(米国時間)に、米国議会においてワシントン首都圏交通局 (WMATA: Washington Metropolitan Area Transit Authority)の事業運営に関する公聴会が開催されました。その中で、WMATAから2017年に発生した7000系車両の車輪間隔が拡大する不具合に関する「原因分析報告書」を、川崎重工グループのKawasaki Rail Car Inc.が不具合発生から2021年12月まで提出していなかったとの発言がありました。

当該車輪間隔が拡大する事象は、当社製7000系車両以前に納入・運行されている他社製車両においても発生していました。そのため、当初WMATAと合意していた車輪と車軸を圧入する力を、車輪間隔拡大対策としてWMATAと協議・承認を得た上で2017年に変更し、その後、WMATAと合意した仕様で車両を納入しています。なお、車輪間隔が拡大した輪軸につきましては、WMATAとの合意に基づき、車輪の交換(車輪と車軸の再圧入)を実施してきました。

今回の「原因分析報告書」に関する発言については、NTSB (National Transportation Safety Board : 国家運輸安全委員会) が主導する7000系車両の脱線事故調査の一環で提出した書類について言及されたものと考えています。事故原因については、引き続きNTSBが調査を行っており、原因特定はなされておりませんが、現時点で当社責となる瑕疵は発見されておられません。

本件の早期解決に向けて、川崎重工グループは引き続き鉄道車両メーカーとして、NTSBの調査に協力していきます。なお、今後開示すべき事項が判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上